

警策で打たれる児童



さまざまな体験、ひと回り大きく

◎ワクワクドキドキチャレンジ合宿

近永公民館で合宿して学校に通学する「ワクワクドキドキチャレンジ合宿」は11月13日から17日までの5日間、近永小学校4、5、6年生を対象に行われました。今年、25人の児童がこの合宿に参加し、坐禅、ドラム缶風呂への入浴や自炊などを体験。坐禅体験では、姿勢が崩れた者が警策と呼ばれるもので打たれる行為を全員が順番に経験するなど、しんと静まりかえった部屋の中、精神の統一に挑戦しました。

合宿中さまざまな体験をした児童たち。合宿を終えたその表情には、やり遂げた自信が溢れています。

元気よく伸びやかな歌声を披露



響き渡る元気な歌声と迫力の演奏

◎きほくふれあい音楽会

11月7日、広見中学校体育館において「きほくふれあい音楽祭」が開催され、町内の小中学校の児童生徒たちが参加しました。

斉唱と合唱が行われる第1部と、器楽演奏が行われる第2部に分けて開催されたこの音楽会。参加した小中学校の児童生徒たちは、合唱に振り付けを合わせてみたり、曲をアレンジしてみたりと、それぞれに工夫を凝らした歌声や演奏を披露。

どの学校もそれぞれの特性を生かした発表に、会場の保護者たちからは一つの発表が終わるごとに盛大な拍手が送られました。

熱戦を繰り広げる選手たち



優勝目指して、選手たちが激闘

◎鬼北町球技スポーツ少年秋季大会

11月17日、鬼北総合公園体育館において「鬼北町球技スポーツ少年秋季大会」が開催されました。9月30日に開催される予定だった本大会。台風による延期のため、今年度はミニ・バスケットボールのみでの開催となりました。

この日は町内外から4チームが参加し、選手たちは日頃の練習の成果を発揮するため、懸命にボールを追いかけ、声を掛け合いながら熱戦を展開しました。

主な結果は次のとおりです。

①広見ミニバスクラブ ②好藤スポーツ少年団 ③三間スポーツ少年団

特産のゆずを調理する参加者



地元の産物通して「食」を学ぶ

◎第1回ふるさと薬膳講座

「第1回ふるさと薬膳講座」鬼北の四季・夏秋料理の研究」は11月15日、鬼北町中央公民館において開催されました。

今回の講座では、株式会社健美研究所・代表取締役の新倉久美子さんを講師に迎え、鬼北町特産のゆずを使った「焼き椎茸とささみのゆず釜」など、地元の産物を生かした料理の実習と試食、そして「ふるさと薬膳について」の講義を実施。

参加者たちは実習と講義を通して、「薬膳」というこれまでとは違った視点から、地元の魅力を再発見していました。